



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社グルメ杵屋  
コード番号 9850 URL <http://www.gourmet-kineya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 森田 徹

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,448	0.3	319	△27.6	335	△24.2	504	21.3
28年3月期第2四半期	19,383	7.1	442	475.0	442	397.6	415	809.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 509百万円 (68.2%) 28年3月期第2四半期 303百万円 (4.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	22.34	—
28年3月期第2四半期	18.41	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	32,639	14,682	44.1	637.78
28年3月期	33,460	14,486	42.3	626.80

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 14,406百万円 28年3月期 14,158百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,336	4.6	459	1.1	478	3.6	134	△63.8	5.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	22,610,359 株	28年3月期	22,610,359 株
29年3月期2Q	21,999 株	28年3月期	21,039 株
29年3月期2Q	22,588,908 株	28年3月期2Q	22,594,257 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策を背景に雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかに回復基調が続いておりますが、中国をはじめ新興国経済の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクがあり、不透明さが残る状況でありました。

外食産業を取り巻く環境は、景気回復とともに人材の確保が厳しくなるとともに、平成28年10月以降において最低賃金が全国的に上がり、社会保険適用拡大等により労務費が概ね上がる事が予想されます。さらに顧客獲得に向けた企業間競争は激化しており厳しい経営環境に直面しています。

このような環境下で当社では、当期は設立から50年の節目の年であり、「新3ヶ年中期経営計画」を始動いたしました。初年度である当期は2年目以降における成長ステージの礎となるシーズを生み出す年度として、「主力事業であるレストラン事業の収益力の強化」「ホールディングス機能の強化によるグループ収益力の強化」「投資案件への積極的な取り組み」「グローバル展開」を行ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高194億48百万円（前年同期比65百万円増）、営業利益3億19百万円（前年同期比1億22百万円減）、経常利益3億35百万円（前年同期比1億6百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億4百万円（前年同期比88百万円増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## (レストラン事業)

既存店の業績回復を柱に、業績不振店舗の改装・業態変更を推進いたしました。その結果、新規出店1店舗（前年同期4店舗）、退店10店舗（前年同期6店舗）を行い、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は41都道府県に429店舗となりました。改装は14店舗実施し、このうち4店舗の業態変更を行いました。既存店舗の売上は順調に推移しましたが、退店による店舗数減少により減収となったものの、コストコントロールの効果により増益となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は143億51百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は6億89百万円（前年同期は6億82百万円の利益）となりました。

## (機内食事業)

㈱エイエイエスケータリングの関西国際空港の機内食工場においては、昨年11月に発生したパリ同時多発テロ以降ヨーロッパ及び中東における航空会社の乗客数減少により受注が回復せず減収となり、原材料及び労務費等のコストコントロールの効果が及ばなかった事及び福岡新規工場の開業準備に伴うコストアップ等により減益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は23億29百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント損失1億29百万円（前年同期は15百万円の利益）となりました。

## (業務用冷凍食品製造事業)

㈱アサヒケーターリングにおいては、本社工場の冷凍食品の製造受注が大幅に増加し増収増益となりました。以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は8億40百万円（前年同期比43.8%増）、セグメント損失64百万円（前年同期は1億27百万円の損失）となりました。

## (不動産賃貸事業)

大阪木津市場㈱の地方卸売市場の入居率が改善した結果、増収増益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は3億29百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益1億45百万円（前年同期は1億35百万円の利益）となりました。

## (運輸事業)

水間鉄道㈱においては鉄道及びバス旅客数が減少したことにより減収となりました。コストコントロールの効果も及ばず減益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は2億25百万円（前年同期比7.3%減）、セグメント損失37百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

## (その他)

大阪木津市場㈱で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が減少し減収になりましたが、コストコントロールの効果が及び増益となりました。日本食糧卸㈱で展開しております米穀卸売事業は、仕入単価の上昇により減収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は13億71百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント損失15百万円（前年同期は11百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8億21百万円減少して326億39百万円となりました。これは主に現金及び預金12億56百万円の減少及び商品及び製品4億66百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ10億18百万円減少して179億56百万円となりました。これは主に借入金11億34百万円及び未払消費税等2億61百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億96百万円増加して146億82百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益5億4百万円の計上及び配当金の支払い2億71百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.3%から44.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社では主に定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

これは、設備投資コストを資産の使用実態に応じて配分し、収益と減価償却費との合理的な対応を図り、より適切な期間損益計算を行うため、定額法に変更するものであります。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ64,155千円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,225,408	5,968,999
預け金	940,656	821,970
売掛金	1,073,012	1,307,956
商品及び製品	174,886	641,221
原材料及び貯蔵品	185,087	224,114
短期貸付金	6,846	6,752
繰延税金資産	115,132	115,132
その他	635,878	543,868
貸倒引当金	△3,565	△3,296
流動資産合計	10,353,343	9,626,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,982,835	25,411,619
減価償却累計額	△18,474,995	△18,474,368
建物及び構築物 (純額)	6,507,839	6,937,251
機械装置及び運搬具	2,450,034	2,500,795
減価償却累計額	△1,983,987	△2,030,803
機械装置及び運搬具 (純額)	466,047	469,991
工具、器具及び備品	1,585,180	1,663,636
減価償却累計額	△1,293,709	△1,311,009
工具、器具及び備品 (純額)	291,470	352,626
土地	7,895,781	7,759,381
建設仮勘定	362,930	634
有形固定資産合計	15,524,069	15,519,884
無形固定資産		
投資その他の資産	53,387	57,388
投資有価証券	1,003,014	1,007,447
長期貸付金	94,897	90,996
差入保証金	6,327,213	6,207,157
その他	125,831	149,085
貸倒引当金	△20,849	△19,497
投資その他の資産合計	7,530,107	7,435,187
固定資産合計	23,107,564	23,012,460
資産合計	33,460,907	32,639,180

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,157,869	1,182,063
短期借入金	300,000	600,000
1年内償還予定の社債	140,000	240,000
1年内返済予定の長期借入金	3,189,240	2,928,040
未払金	388,282	239,193
未払費用	1,692,613	1,655,715
リース債務	29,220	22,705
未払法人税等	106,340	233,817
未払消費税等	437,274	175,641
賞与引当金	88,818	128,378
資産除去債務	43,469	47,554
その他	192,897	184,884
流動負債合計	7,766,026	7,637,995
固定負債		
社債	560,000	890,000
長期借入金	7,180,986	6,007,316
長期未払金	60,540	37,735
リース債務	79,659	68,828
繰延税金負債	1,459,773	1,460,230
資産除去債務	1,132,458	1,119,516
転貸損失引当金	21,750	20,250
退職給付に係る負債	151,904	143,193
その他	561,287	571,122
固定負債合計	11,208,359	10,318,192
負債合計	18,974,385	17,956,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,767,578	6,774,545
利益剰余金	1,378,073	1,611,608
自己株式	△18,745	△19,670
株主資本合計	13,965,143	14,204,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,235	226,211
退職給付に係る調整累計額	△28,406	△24,606
その他の包括利益累計額合計	193,828	201,604
非支配株主持分	327,550	276,667
純資産合計	14,486,521	14,682,992
負債純資産合計	33,460,907	32,639,180

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	19,383,018	19,448,522
売上原価	11,667,985	11,803,460
売上総利益	7,715,033	7,645,061
販売費及び一般管理費	7,273,001	7,325,115
営業利益	442,031	319,946
営業外収益		
受取利息	3,867	3,382
受取配当金	11,888	15,109
仕入割引	5,303	4,248
賃貸料収入	38,722	48,832
その他	28,416	30,860
営業外収益合計	88,199	102,434
営業外費用		
支払利息	64,898	52,911
社債発行費	—	8,661
賃貸費用	20,405	23,418
その他	2,653	1,971
営業外費用合計	87,957	86,963
経常利益	442,273	335,417
特別利益		
固定資産売却益	1,425	456,545
投資有価証券売却益	161,854	—
その他	10,236	29,872
特別利益合計	173,517	486,417
特別損失		
固定資産除却損	44,946	14,792
減損損失	13,160	97,767
商品廃棄損	8,003	—
その他	768	2,720
特別損失合計	66,879	115,280
税金等調整前四半期純利益	548,911	706,554
法人税、住民税及び事業税	125,453	204,840
法人税等合計	125,453	204,840
四半期純利益	423,457	501,714
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,542	△2,892
親会社株主に帰属する四半期純利益	415,914	504,607



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	423,457	501,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124,273	3,976
退職給付に係る調整額	3,996	4,182
その他の包括利益合計	△120,277	8,158
四半期包括利益	303,180	509,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,269	512,384
非支配株主に係る四半期包括利益	7,910	△2,510

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	548,911	706,554
減価償却費	417,521	390,641
減損損失	13,160	97,767
長期前払費用償却額	9,624	13,023
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,660	39,560
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,236	△1,619
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,500	△1,500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,566	△1,240
受取利息及び受取配当金	△15,756	△18,492
支払利息	64,898	52,911
投資有価証券売却損益 (△は益)	△161,854	—
固定資産除却損	44,946	14,792
固定資産売却損益 (△は益)	△1,425	△456,545
売上債権の増減額 (△は増加)	13,949	△116,258
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△349,775	△505,362
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,241	24,193
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△314,100	△180,073
その他	△28,157	△175,469
小計	282,541	△117,116
利息及び配当金の受取額	15,756	18,492
利息の支払額	△65,411	△58,793
法人税等の支払額	△169,653	△65,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,232	△223,370
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
補助金の受取額	—	67,591
有形固定資産の取得による支出	△693,290	△679,639
無形固定資産の取得による支出	△6,656	△13,164
長期前払費用の取得による支出	△11,639	△41,804
店舗撤去に伴う支出	△18,269	△20,341
有形固定資産の売却による収入	1,579	592,946
投資有価証券の取得による支出	△1,000	—
投資有価証券の売却による収入	249,735	—
出資金の回収による収入	252	—
貸付けによる支出	△20,000	△539
貸付金の回収による収入	4,712	3,784
差入保証金の差入による支出	△27,912	△38,659
差入保証金の回収による収入	140,383	143,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382,105	13,775

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	259,400	600,000
短期借入金の返済による支出	△109,400	△300,000
長期借入れによる収入	380,000	175,000
長期借入金の返済による支出	△1,389,618	△1,609,870
社債の発行による収入	—	491,338
社債の償還による支出	—	△70,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△42,793
配当金の支払額	△269,966	△270,318
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,221	△17,345
自己株式の取得による支出	△4,274	△925
その他	△1,898	△1,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,152,979	△1,046,813
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,471,852	△1,256,408
現金及び現金同等物の期首残高	7,043,055	7,225,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,571,203	5,968,999

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,415,571	2,405,767	584,981	328,898	243,304	17,978,523	1,404,494	19,383,018	-	19,383,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	6,424	237,440	-	31,111	275,057	363,342	638,399	△638,399	-
計	14,415,653	2,412,191	822,421	328,898	274,415	18,253,580	1,767,837	20,021,417	△638,399	19,383,018
セグメント利益又は 損失(△)	682,684	15,606	△127,620	135,472	△17,122	689,019	11,254	700,274	△258,242	442,031

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△258,242千円は、主に各報告セグメントに配分していない  
全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を  
13,160千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりませ  
ん。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,351,423	2,329,253	840,927	329,622	225,478	18,076,705	1,371,816	19,448,522	-	19,448,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	5,784	187,661	-	31,809	225,255	499,739	724,994	△724,994	-
計	14,351,423	2,335,037	1,028,588	329,622	257,288	18,301,961	1,871,556	20,173,517	△724,994	19,448,522
セグメント利益又は 損失(△)	689,904	△129,036	△64,032	145,134	△37,482	604,487	△15,104	589,383	△269,437	319,946

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△269,437千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を97,767千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社では主に定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、「レストラン事業」で54,316千円増加し、セグメント損失がそれぞれ「機内食事業」で8,569千円、「調整額」で1,269千円減少しております。